

天井桟敷の人々 (1945)

LES ENFANTS DU PARADIS
CHILDREN OF PARADISE

メディア	映画
ジャンル	ドラマ ロマン스
製作国	フランス
色彩	B&W
時間	195分
初公開日	1952/02/20
公開情報	東和=東宝
映倫	G
	1981/02 [フランス映画社]
リバイバル	2000/12/26 [ザジフィルムズ]
	2005/01/15 [ザジフィルムズ]
	2020/10/23 [ザジフィルムズ] (4 K修復版)

【解説】

フランス映画史に残る古典として知らぬ者のない名作だ。時の摩耗にも耐えて、常にフランス映画の顔として君臨してきた作品。プレヴェール=カルネのコンビの数ある“詩的リアリズム”作品の中でも、人間絵巻としてのボリューム感、横溢するロマンチズム、純化された19世紀の風俗再現と、類を見ない、フランス人にとっての永遠の一作なのだ。1840年代パリのタンブル大通り。パントマイム役者バティスト（バロー）は、裸に近い踊りで人気のガランス（アルレッティ）に恋をする。犯罪詩人ラスネールや俳優ルメートルも彼女に夢中だ。一方、バティストの属する一座の座長の娘ナタリーはバティストを愛していた。ラスネールと悶着のあったガランスもその一座に加わるが、彼女の前には新たな崇拜者モンレー伯が現れる……。とここまでが第一部。第二部は、5年後のバティストはナタリーと、ガランスは伯爵と結婚。前者には一子もあった。が、ガランスを忘れられぬバティストはルメートルの手引きで彼女と再会。一方、劇場で伯爵の侮辱を受けたラスネールはトルコ風呂で彼を襲撃し殺す。一夜を明かしたバティストとガランスの前には子連れの名ナタリーの姿が……。ガランスは身を引く覚悟を決め、カーニバルの雑踏の中に消えていく。後を追うバティストの彼女の名を呼ぶ声、この壮大なラストシーンと、純粹すぎるほどに熱いバローの名演、アルレッティの妖艶さは、まさに古典たるに相応しい風格を持って、映画の未来にも永遠に記憶されるに違いない。

【クレジット】

監督	マルセル・カルネ	Marcel Carne
製作	フレッド・オラン	Fred Orain
脚本	ジャック・プレヴェール	Jacques Prevert
撮影	ロジェ・ユベール	Roger Hubert
	マルク・フォサール	Marc Fossard
音楽	モーリス・ティリエ	Maurice Thiriet
	ジョセフ・コズマ	Joseph Kosma
出演	アルレッティ	Arletty
	ジャン＝ルイ・バロー	Jean-Louis Barrault
	マリア・カザレス	Maria Casares
	マルセル・エラン	Marc Herrand
	ピエール・ブラッスール	Pierre Brasseur

ルイ・サルー	Louis Salou
ジャヌ・マルカン	Jane Marken
シモーヌ・シニョレ	Simone Signoret
ジャン・カルメ	Jean Carmet